

大会名称: 第73回国民体育大会 バasketボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バasketボール競技会)

開催場所: 福井県営体育館 Dコート

試合区分: No. 14 少年男子 1回戦

期 日: 2018(H30)年10月1日(月)

開始時間: 15:15

終了時間: 16:45

主審: 平澤 明男(新潟県)

副審: 真橋 佑昌(福井県)



広島 (中国)	○ 107	22 — 16 36 — 18 26 — 16 23 — 12 — — —	● 62	栃木 (関東)
-------------------	-----------------	---	----------------	-------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	山口 由稀	15	1	6	0	2	4	1
5	*	石原 奏志	7	1	2	0	1	1	2
6		共田 賢人	11	2	2	1	1	3	0
7		國藤 雅弥	2	0	1	0	0	4	4
8	*	カボンゴ ジョナサン	20	0	9	2	1	16	1
9	*	阿井 勝海	4	0	2	0	1	3	2
10	*	三谷 桂司朗	18	2	6	0	1	16	3
11		阿部 優月	10	0	3	4	3	2	1
12		大福谷 和馬	13	0	5	3	0	14	0
13		東 蒼一朗	0	0	0	0	1	2	0
14		塩見 晃希	7	0	3	1	1	7	3
HC 枝長 弘幸 / TEAM									
合計			107	6	39	11	12	72	17

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	宇梶 温哉	0	0	0	0	2	3	4
5		上岡 奏人	8	2	1	0	2	3	1
6	*	疋田 翔琉	13	0	5	3	3	8	0
7		春山 歩夢	21	7	0	0	0	2	0
8	*	相馬 俊介	8	0	3	2	0	6	2
9	*	御堂地 思音	7	1	2	0	3	10	4
10		伊藤 ネイラケビン学	0	0	0	0	1	3	0
11	*	小島 優生	0	0	0	0	1	1	0
12		清水 一樹	4	0	2	0	2	0	0
13		清永 湧士	0	0	0	0	1	0	0
14		坂本 亮雅	1	0	0	1	1	1	2
HC 高崎 徹 / TEAM									
合計			62	10	13	6	16	37	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ペリオド、両チームともマンツーマンディフェンスで始まる。栃木#6のジャンプシュートで先制する。広島は長身の#8のリバウンドシュートで加点し、栃木はオールコートのゾーンプレスでプレッシャーをかける。残り3分40秒、13-13の同点で栃木がタイムアウト。その後も一進一退の攻防が続くが、広島#10がフリースローのリバウンドを押し込み、22-16と広島のリードで終了。
 第2ペリオド、栃木#7が速攻から3Pを沈め反撃に出るが、広島は#4#10のドライブインや3Pが決まり、開始4分で36-19と17点差をつける。たまたま栃木はタイムアウトをとる。栃木は#7の3Pが連続して決まるが、点差は縮まらない。広島は#8のリバウンドシュートが決まりだし、24点差に広げ58-34で終了する。
 第3ペリオド、栃木は#6のジャンプシュート、#7の3Pと反撃に出て、開始2分で9点を縮める。ディフェンスも2-3ゾーンディフェンスにして、激しい動きで守り抜くが、こぼれたシュートを広島#8#10にリバウンドシュートを決められてしまう。広島はドリブルスティールから#4がレイアップを決めるなどで加点し、84-50で終了する。
 第4ペリオド、栃木は身長差をカバーするために、メンバー全員が激しくボールチェックを行い、奪ったボールを#5が連続3Pを決めて反撃する。広島は#7が3Pシュートブロックから速攻で加点するなどして、終始リズムよく得点し、107-62で試合を終了した。広島が高さを生かしてゲームを支配していたが、果敢に戦った栃木の粘りも称えたい。

担当者: 濱辺 弘一((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

